

インプラントのメディア報道で思うこと

久しぶりにインプラントについて書きたいと思います。先日、テレビで「インプラントトラブル急増の理由」という番組をやっていました。これをみて黙つていられなくなってしまいました。

ンプラントに安易に走っているという指摘もある。そこで、学会では治療のガイドラインの策定に着手。一部の大学では、授業を新設して、治療の技術とテクニカルを向上させる取り組みを始めた」というもの。

ルーセントデンタルクリニック院長 後藤



98年
歯科卒業
学園
再生
一院
寿医療センター歯
勤務などを経て、
ルーセントデンタル
クリニック副院長。2011年

十分な情報が判断材料
視聴者に誤解なく伝える

す。

「できない
ものはでき
ない」とい

た。国民生活センターは5年間で200件の相談が寄せられたとして、先月、悪をやっている歯科医師は儲け主義」、「保険診療はしつかりした治療で自由診療は管理が行き届いてなく危険なものでこれは確かにいます。テレビで取り上げられるトラブルはインプラント埋入、いわゆる外科処置に関するものでこれは確かに

行政や医師会治療などと一般の方などに早急な対策を呼びかけた。インプ患者さん側がしつかれない内容です。絶対避けなければならぬ種類のトラブルです。これを避けるためにはCT撮影などの確

自由診療で、標準的な
治療方法が定められて

ない。保険診療と違つて監督官厅の監視も届きにくく、十分な技術を持たない医師が、高い治療費をとれるイ

歯科医師も改めて襟を正して診療にあたると、いう意味ではこの手の番組は意義のあることです。しかしトラブルの背景やそのトラブルの質、うまくいってい

考え方、そして経験、技術が重要なのは当然です。

クリニック 名古屋市
西区牛島町6の1・名
古屋ルーセントタワー
3階、電話052・9

大人
のための
歯科講座

歯科治療の新潮流

= 22 =

ルーセントデンタル
クリニック院長
後藤 英夫



歯科、吉田式
寿医療センター歯科口腔外科
勤務などを経て、2008年から
ルーセントデンタルクリニック副院長。2011年から院長。